

道徳科学習指導案

指導者 景山 敦子

- 1 学 年 第6学年1組 14名
- 2 日 時 令和5年1月27日（木）第5校時
- 3 主題名 「広く受け入れる心」（B 相互理解，寛容）
- 4 本時のねらい

サムを憎む気持ちが消え，穏やかにサムを見つめるピエロとサムの気持ちの変容について考えることを通して，自分と異なる考えや意見を尊重し，大切にしていこうとする態度を養う。

- 5 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」（日本文教出版）
- 6 主題設定の理由

（1）主題観

自分の考えや思いを相手に伝えるとともに，自分と異なる考えや思いを受け止め，相手への理解を深めることで，人間関係を深めていくことができる。しかし，自分と異なる意見や考えを広い心で受け止めて，相手への理解を深めることは決して容易ではない。

自分の心の中にも，相手と同じように身勝手に考えてしまうことがある弱さや，自己本位になりやすい弱さをもっていることを自覚し，相手の考えや意見に対する理解を深めようとする態度が大切である。相手の心に寄り添い自分と異なる考えや意見を尊重することで，個性の違いを生かしたよりよい人間関係が生まれるよさを感じさせたい。

（2）児童観

本学級の児童は，友達と明るく過ごしたり，友達の気持ちを考えて行動したりすることができる。

本学級の児童を対象にした児童生徒等の意識調査（道徳アンケート9月実施）によると，「今までに，友達と意見や考えが合わなかったことはありますか。」という質問に対して，「ある」と答えた児童は64％（9名／14名）であった。「ある」と答えた児童の中には，「国語の話し合いの授業で，折り合いがつかず意見が食い違ったまま終わった。」「休憩時間に何をして遊ぶのかを決めるときに，意見が合わなかった。」などの回答があった。また，「どんな気持ちになりましたか。」という質問に対しては，「なんで分かってくれないの。」や「相手が家族なら自分の思いを押し通すけど，友達には嫌われたくないから合わせる。」などの回答があり，自分の意見と異なる相手に自分の気持ちを受け止めてほしい児童がいるということが分かる。また，学年当初に比べ，自分と異なる考えや意見を尊重しようとする姿が多くみられるようになってきたが，個性の違いがよりよい人間関係を生むという実感は持てていないように思われる。

（3）教材観・指導観

本教材は，児童にとって身近な場面を想起し，自分と他者との関わりを振り返ることができるものである。身勝手な言動で到底許されるはずのないサムの言動や演技後の様子を何度も思い出させ，

それを理解し、受け入れるピエロの思いを考えさせることで、互いに心が寄り添うことによって、よりよい関係を築くことができることを感得させたい。

指導にあたっては、はじめに、「演技をやめようとしないうサムを見つめるピエロは、どんな思いだったのでしょうか。」と問い、サムの身勝手さに対する怒りだけでなく、ピエロ自身も大王の前で演技をしたかった悔しさについても気付かせる。

次に、「ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えたのは、どんな考えがあったからでしょう。」と問い、ピエロ自身の自分本位の考えやサムに嫉妬する気持ちに気付かせる。また、同じ目的に向かって努力するサムの姿を認めることにより、よりよいサーカス団にしていこうとするピエロの態度に共感させる。ここでは、児童の考えを、【サムに対する思い】【自分を振り返って】【これからに向けて】等、分類・整理しながら板書を行い、ピエロの思いを多面的に考えさせる。

その次に、「ピエロの手をゆっくり取り、固く握手を交わしたサムは、どんな思いだったのでしょうか。」と問い、ピエロがサムのよさや自分の過ちを伝えることで、サムも自分を振り返りピエロの思いに歩み寄ろうとしていることに気付かせる。その際、ピエロとサムがお互いに理解し合い尊重し合うことで、2人の思いが近づいていることが、視覚的に分かるように板書する。

さらに、「なぜ自分と考えがちがう人のことを理解しようとした方がよいと思いますか。」と問い、自分と異なる意見や立場を受け入れるのは難しいという人間の弱さをおさえたうえで、本時のねらいに迫る。その際、ジャムボードを使い、グループで話し合うことによって、グループの考えを整理するとともに、全体での話し合いの際に提示できるようにする。

最後に、「相手と考えや意見がちがうときに、これからどんなことを大切にしていきたいですか。」と問い、授業を通して考えたことをもとに、自分の生き方について考えさせたい。

7 カリキュラム・マネジメントの取組

○学級活動、国語科「卒業文集を作ろう」、総合的な学習の時間「中学校に向けてはばたこう」での話し合いの場面で、自分の考えだけでなく、友達のを生かし、折り合いをつけながら、話をまとめる経験をさせる。

8 本時の展開

(1) 準備物 挿絵、クロームブック（教師用・児童用）パソコン、プロジェクター、スクリーン

(2) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入 5 分	①本時で学習するテーマを捉える。	今までに友達と意見や考えが合わなかった経験はありますか。 ・何をして遊ぶかを決めるとき。 ・国語で議論をするとき。	○事前アンケートの結果を提示し、現時点での自分たちの状況をおさえたうえで、本時のねらいにつなげる。

		考えよう 相手と考えや意見がちがうときに どんな考えが大切なのだろう。	
展 開 30 分	②教材「ブランコ 乗りとピエロ」を 読んで考え、話し 合う。	演技をやめようとしないうサムを見 つめるピエロは、どんな思いだっ たのでしょうか。 ・あれほど言っておいたのに…私と の約束を破るなんて許せない。 ・サムのやつ、また自分だけ目立とう としたな。勝手すぎる。 ・私の芸も大王様に見てほしかった。 スターになりたかった。悔しい。 ピエロの心の中からサムを憎む気 持ちは消えたのは、どんな考えが あったからでしょう。 【サムに対する思い】 ・演技を終えてぐったりするほど力 を出し切ったサムはすごい。 ・サムは大王や観客に喜んでほしい から時間を越えてまで演技をし た。 【自分を振り返って】 ・私だって、自分だけスターになりた いという気持ちがあったのにサム だけを責めてしまって悪かった。 ・サムのように観客を感動させるほ どやり切っていない。 【これからに向けて】 ・私もサムも、サーカスを成功させる ために頑張っているのは同じだ。	○教材を前半と後半に分けて読むこ とによって、それぞれの場面でのピ エロの心情やその変容を捉えやす くする。 ○ピエロはサーカス団のリーダーで 古くからのスター、サムは大きなサ ーカス団から招かれたスターとい う立場の違いがあることや、日頃か ら考えや意見が異なっていること をおさえる。 ○サムの身勝手さに対する怒りだけ でなく、ピエロ自身も大王の前で演 技をしたかった悔しさについても 気付かせる。 ○ピエロ自身の自分本位の考えやサ ムに嫉妬する気持ちに気付かせる。 また、同じ目的に向かって努力する サムの姿を認めることにより、より よいサーカス団にしていこうとす るピエロの態度に共感させる。 ☆今まで受け入れられなかった相手 の考えや行動を理解し、相手のよさ や思いに気付くことができたか。 (道徳ノート、発言) ○個人で道徳ノートに書いた後、ペア で話し合い、考えが深まるようにす る。 ○全体交流後、「サムは自分のためだ けに一生懸命演技をしたのだろう か。」と問い返し、よりねらいに迫 れるようにする。

		・サムや他の団員の思いもよく聞いて、よりよいサーカスにしたい。 ピエロの手をゆっくり取り、固く握手を交わしたサムは、どんな思いだったのでしょうか。 ・ピエロが自分を認めてくれたんだ。 ・ピエロの時間を使ってしまった自分も悪かった。 ・これからは、ピエロや他の仲間たちと協力して、サーカスをよりよいものにしていきたい。 なぜ自分と考えが違う人のことを理解しようとした方がよいと思いますか。 ・自分と違う考えの人の意見を大切にすると、自分の考え方が広がって成長することができる。 ・自分の思い通りにばかりしては、よい人間関係をつくることができない。 ・相手の気持ちを考えることで、仲良く気持ちよく過ごせる。	○ピエロがサムのよさや自分の過ちを伝えることで、サムも自分を振り返りピエロの思いに歩み寄ろうとしていることに気付かせる。 ○ピエロとサムがお互いに理解し合い尊重し合うことで、2人の思いが近づいていることが、視覚的に分かるように板書する。 ○自分と異なる意見や立場を受け入れるのは難しいという人間の弱さをおさえたうえで、それでもなお「なぜ自分と考えがちがう人のことを理解しようとした方がよいのか。」を問うことで、本時のねらいに迫る。 ○ジャムボードを使い、グループで話し合うことによって、グループの考えを整理するとともに、全体での話し合いの際に提示できるようにする。 ○必要に応じて、児童の話し合いの中で教師の体験談を話し、価値を温める。
終 末 10 分	③本時の学習から、これからの自分に生かしていきたいことを考える。	今日の学習でどのようなことを学びましたか。相手と考えや意見が違うときに、これから大切にしたいことを考えましょう。 ・相手のことをよく知ろうとする。 ・相手のよいところを見つける。 ・自分と違うところも認める。	○授業を通して考えたことをもとに、自分の生き方について考えさせる。 ☆自他の思いや考えの相違を乗り越え、相手と相互に理解しようとする態度が大切だということが分かったか。（道徳ノート、発言）

9 板書計画

ブランコ乗りとピエロ

考えよう

相手と考えや意見がちがうときに大切にしたいことは

サムを憎む気持ちが消えた

【サムに対して】

- ・ぐったりするほどが力を出し切ったサムはすごい。
- ・サムは大王や観客に喜んでほしかったから…。

【自分をふり返って】

- ・自分だけスターになりたい…サムだけを責めてしまった。
- ・サムのように観客を感動させるほどやり切っていない。

【これからに向けて】

- ・私もサムも、サーカスを成功させるためにがんばっている。
- ・サムや他の団員の思いもよく聞いて、よりよいサーカスに！

ピエロとあくしゅをかわした

- ・ピエロが自分を認めてくれた。
- ・ピエロの時間を使ってしまった自分も悪かった。
- ・これからは、協力して、サーカスをよりよいものにしていきたい。



サム

サム…大きなサーカスからまねかれた

- ・スター気取り
- ・ピエロの言うことさえまじめにきかない
- ・「またお説教か」



自分が成長できる

よりよい人間関係

- ・相手のことをよく知ろうとする。
- ・相手のよいところを見つける。
- ・自分と違うところも認める。



ピエロ

ピエロ…古くからのスター、リーダー